

# 太地町立くじらの博物館

## ○現在実施している又は今後実施予定の取組

太地町は400年以上にわたって、クジラと深く関わってきた「クジラの町」として知られています。町内に位置する太地町立くじらの博物館は、鯨類に特化した全国でも数少ない施設です。捕鯨の歴史や文化、そして鯨類の生態に関する資料を展示するほか、鯨類を中心とした熊野灘に生息する様々な生き物を展示するなど、博物館と水族館の要素を併せ持った展示を特徴としています。

ショーやふれあいイベントも充実しており、五感で体験し、楽しみながら「クジラ」について学ぶことができる施設となっています。

今後、くじらの博物館内で「さかなの日」のポスター掲示及びチラシの配架を実施する予定です。

